

金利のある世界到来・知っておきたい「72の法則」

通帳やWEBで、銀行の出入金の明細を確認すると、利息がこれまでより多くなっていることに、お気づきになった方も多いのではないのでしょうか。今号は金利のある世界で、知っておくと便利な「72の法則」についてです。

2016年から、金融緩和政策の一環として行われてきた「マイナス金利政策」が解除されました。日銀による利上げは17年ぶりのこととなります。投資の三大原則の長期・積立・分散の効果に大きく影響する金利ですが、72の法則を使えば、金利の及ぼす影響を簡単に実感でき便利です。

72の法則とは

投資した元本を複利運用して2倍にするには、どれくらいの金利と年数が必要であるか計算する方法のこと。

元本を2倍にするのにかかる期間			
金利	1%	期間	72年
	⋮		⋮
	0.2%		360年
	4%		18年
	7.2%		10年

金利が1%なら72年間複利で運用することで、元本が2倍になります

7.2%なら10年



この法則から「72」と「金利」という二つの数字があれば、下記の計算式で投資した元本が倍になる期間を求められます。

$$72 \div \text{金利} = \text{元本が倍になる期間}$$

2025年3月時点でのメガバンクの普通預金金利は0.2%です。72÷0.2=360年。複利で運用しても、元本を2倍にするには360年かかることとなります。金利のある世界に戻ったといっても、預金だけで資産運用するのは、まだまだ難しそうですね。

ソニー生命保険株式会社 募集代理店

LCプロ株式会社

山本 勇一郎

ファイナンシャルプランナー(CFP)

1級DCプランナー(企業年金総合プランナー)

キャリアコンサルタント

〒466-0059

名古屋市昭和区福江2-9-33

名古屋ビジネスインキュベータ白金302

会社 052-880-7400

info@lcpro.co.jp

WEBサイト

